

結核通信

(医療機関の皆様へ)

令和7年度号 令和7年9月発行
兵庫県西播磨県民局赤穂健康福祉事務所（赤穂保健所）
地域保健課 発行 電話：0791-43-2321

日頃から、結核対策業務にご協力いただきありがとうございます。

令和6年結核の年報集計によると罹患率は、前年と変わらず8.1となっており、結核低まん延国の水準である10.0以下を令和6年も継続しています。日本の結核罹患率は、米国等他の先進国に近づき、近隣アジア諸国に比べても低い水準にあります。

赤穂健康福祉事務所（保健所）管内の結核の状況についてまとめましたので、結核通信としてお知らせします。

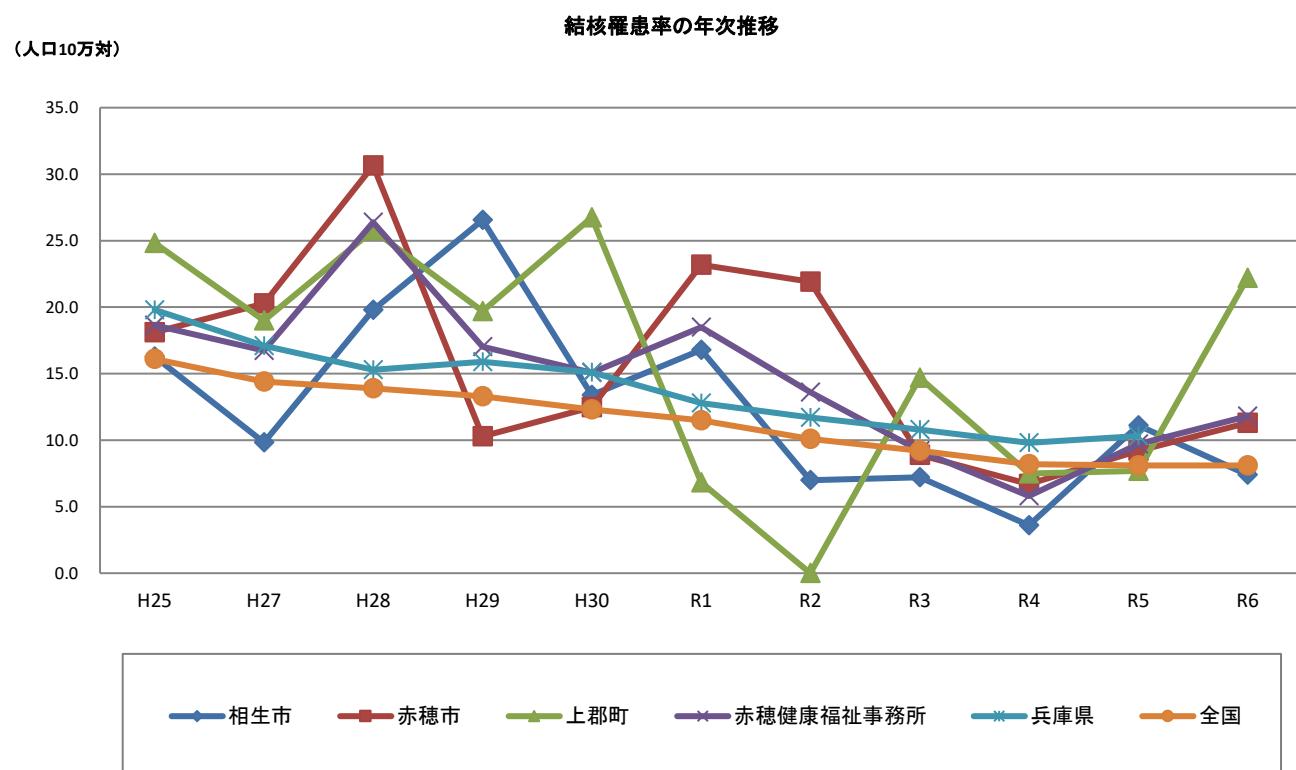
■管内の状況

(1) 令和6年新登録結核患者数

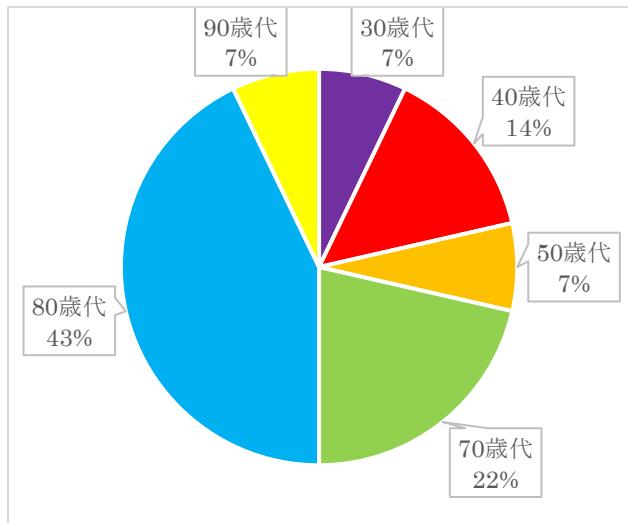
- ① 管内の結核の罹患率（人口10万対新登録患者数）は、年によって変動しますが、ほぼ兵庫県並の罹患率で推移しています。全国平均と比べると罹患率はやや高めです。直近の令和6年には、11名の新登録患者が発生しています。
- ② 新登録患者の年齢をみると、**70代以上の高齢者が7割を占めています**。高齢患者の増加に伴い独居や社会福祉施設等の利用者の増加、また認知症や結核以外の身体疾患を併せ持つ人の増加等、個別の支援課題への対応が求められています。

令和6年新登録結核患者数						
総数	活動性結核				(別掲) 潜在性結核 感染症	
	肺結核活動性	喀痰塗 抹陽性	その他 の結核 菌陽性	菌陰 性・そ の他		
	相生市	2	0	1	0	1
赤穂市	5	2	1	0	2	0
上郡町	3	3	0	0	0	0
赤穂健康福祉事務所管内	10	5	2	0	3	1

(2) 結核罹患率推移



(3) R7年新登録結核患者の状況（令和7年8月末時点）



令和7年8月現在、管内の新登録結核患者は14名（内、潜在性結核感染症5名）、昨年より新登録結核患者が多い状況です。年代別にみると30代1名、40代2名、50代1名、70代以上10名です。高齢者が約7割を占めていますが、**30～50代と若い方の登録もあり、年代問わず注意が必要**です。

また、潜在性結核感染症患者については、5名中4名は、免疫抑制剤使用前のスクリーニング検査で判明しています。医療機関が積極的に検査を実施しているからこそ潜在性結核感染症が判明し、治療につなぐことができています。

■赤穂健康福祉事務所の取り組み

- ① 疫学調査を実施し、感染源や感染経路の究明や、接触者健診の企画及び実施を行い、要精密者には、早期の医療機関受診を勧奨しています。
- ② 服薬継続のアセスメント票を活用し、医療機関と連携したDOTS（直接服薬確認療法）カンファレンスや定期的な所内カンファレンスを行い、地域DOTSの方法を選択し患者支援につなげています。
- ③ 住民や関係機関に対し、結核予防についての知識の普及啓発を行い、患者の早期発見を目指しています。
- ④ 感染防止対策として、結核患者発生時の確実な接触者健診の実施、結核患者との接触機会の多い高齢者ケアスタッフや医療従事者等への標準予防策の徹底等について啓発を行っています。



赤穂健康福祉事務所（保健所）からのお願い



- ① 通院しているから健診を受けなくても大丈夫と考えている高齢者が多いため、健診の受診を勧奨していただくとともに、**年1回は呼吸器症状がなくても胸部レントゲン検査をお願いします。**
- ② **咳等の呼吸器症状が長引く場合は、高齢者に限らず、胸部レントゲン検査に加え、喀痰による抗酸菌検査（塗抹・培養の両方、また、培養陽性の場合は薬剤感受性検査も必要）の実施をお願いします。**
※ 咳痰検査は1回のみでは正しい結果が得にくいため、**必ず3日間連続して**喀痰検査（3連痰）の実施をお願いします。
※ 咳痰検査で結核が否定された場合でも、高齢者の場合は体力低下等によりその後発病することがあります。必要に応じて繰り返し喀痰検査の実施を行うことが重要です。
- ③ 高齢者の結核患者は典型的な咳、痰の症状だけではなく、食欲低下や倦怠感といった結核とは分かりづらい症状のため発見の遅れにつながる可能性があります。微熱など呼吸器以外の症状の場合は、抗菌薬投与のみ行い結核を疑うための喀痰検査を実施されず、結果として診断が遅れることがあります。
- ④ 医療機関職員については年1回胸部レントゲン検査の実施をお願いするとともに、「結核に係る健康診断（事業所）月報様式第43号」により赤穂健康福祉事務所への報告をお願いいたします。